

廃校の利活用と地域活性化 (校舎の宿さんさん館)

宮城県南三陸町

廃校となった小学校を地域住民の手で、体験宿泊施設として活用

やっぱりここが大事

廃校校舎を地域住民が借り受け、宿泊施設としてグリーンツーリズムを展開した。卓越したリーダーの存在、心根の優しい住民によるおもてなしが、何より交流人口の原点であった。

何とかしなくてはという対話の機会・人材発掘が重要である。



▲教室での研修の様子



▲さんさん館 おもてなしメニュー

復興状況の確認

宮城県南三陸町志津川地区

東日本大震災からの復興状況を視察しました。壊滅的な被害からの復旧・復興は、一歩ずつ着実に進んでいました。南三陸さんさん商店街のオープン、三陸縦貫自動車道・南三陸海岸インターチェンジの供用等、町の賑わい創出に向けた整備が着々と進んでいました。

「未希の家」も訪れました。震災の日、町職員で最後まで防災無線で町民に避難を呼びかけ続け、自らも津波の犠牲となってしまった遠藤未希さんのご両親が営む民宿です。津波により自宅2階まで浸水。電気が復旧したのは3か月後。それまではランプで生活しており、まさか7年で現在のような生活ができるようになるとは思ってもしなかったとのことでした。

使命感・責任感を持ち最後まで職務を全うした遠藤未希さん、心よりご冥福をお祈りいたします。



▲被災した旧防災対策庁舎



▲遠藤未希さんのご両親と

学んできました

農地集積・廃校利活用・人口減少対策と、今後の議会活動に資することを目的に、宮城県加美町・南三陸町・七ヶ宿町を視察研修してきました。

農事組合法人の取り組み

宮城県加美町

持続可能な農業経営の確立を目指し取り組んだこと

1. 農地集約
2. 農地の管理一元化
3. 地域内資源の活用(人・機械)

👉 やっぱりここが大事

農業基盤整備強化準備制度を活用しての設備投資、住民の農業に対する意識の共有化等、地域の問題を共有した意識改革は、わが村の農業においても避けることができない課題であると再確認した。

地域にあった組合・法人の設立の仕方を模索していきたい。

▲農事組合法人KAMIX 近田代表(中央)



人口減少対策の取り組み

宮城県七ヶ宿町

賑わい拠点づくり、廃校を利用したふるさと体験交流館、地域住民の利便性と交流人口の増加

👉 やっぱりここが大事

人口減少対策は、ハード・ソフト両事業を組み合わせ、さらに時代の変化にあった取り組みが重要。具体的で身の丈にあった政策は見習うものがあつた。

自分達の地域が、広域的に見てどのような立場・貢献度があるかを自覚すべきと感じた。



▲賑わい拠点施設「Book&Café こ・らっしえ」



▲廃校舎を宿泊施設に改修